〒520-0041
滋賀県大津市浜町1－38
滋賀銀行従業員組合
TEL 077-521-2775
FAX 077-525-5232
Mail info@sbu-ffs.com
URL http://sbu-ffs.com/

原水爆禁止
国民平和大行進2020

核兵器が世界から根絶する日まで頑張って欲しい 市長メッセージより

2020年・被爆75年の国民平和大行進」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で全国通し行進者の行進は中止されました。

全国をつなぐ行進は各地域で地域の実情に応じて、知恵と工夫して国民平和大行進の横断幕を引き継ぎ、広島、長崎を目指します。

従業員組合は、先輩組合員と共に今年も6月16日の長浜から大津まで最寄りの集会や行動に参加しました。

久しぶりにこのような集会に出かけました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、毎年参加している関ヶ原での岐阜県からの引き継ぎ式は、役員のみの代表参加になり、長浜市役所前の集会のみ参加しました。

長浜市役所前には「被爆75年2020年原水爆禁止国民平和大行進」の横断幕、参加団体の幟のもと、約30人が集まりました。

集会は、長浜平和委員会代表の挨拶、滋賀県原水協事務局の挨拶、参加者のトーク、長浜市長のメッセージ（代読）のあと、「2020年原水爆禁止国民平和大行進　長浜集会　2020平和アピール」が提案、大きな拍手で採択されました。集会後デモ行進はありませんでしたが、宣伝カーと後続車による宣伝行動が、長浜駅まで行われました。

今回のコロナ禍は、成長一辺倒の自然を使い尽くすような経済開発が進み、地球の持続性が疑問視されるほどになり、この持続不可能な経済成長という問題点を突く形で起きています。社会がそれを選んで引っ張り込んだのです。「共生」関係を築くしかありません。

核兵器は、人間が1930年代に発見し、1940年代に実用兵器として開発したものであり、人間の意思でなくすことができるものです。

新型コロナウイルスの世界的感染がもたらす人類の生存の危機と、経済、環境の危機を乗り越えるためにも、核兵器も戦争もない世界がなんとしても必要です。

（山﨑幸雄）

6月16日（長浜市）

午後4時から長浜市役所前で、原水爆禁止国民平和大行進の集会が開かれたので参加しました。風が少し強かったが良い天気に恵まれ、長浜市役所での集会に参加しました。今までに経験した事のない自粛生活を強いられ、相次ぐ中止、延期の中行進はできましたが、このような形で核兵器廃絶平和への思いが示せて良かったです。武器でコロナはやっつけられない！この期間見失ってた本当に大事なことを見つめ直す時間でした。終息後はつらかったけど生かされたねと言える社会になってほしいものです。

（清水綾子）

6月17日（東近江市）

今年は、新型コロナウィルス感染対策のため、大規模な行進は行わず、各地の状況に合わせた行動が行われています。

6月17日午後2時に彦根・愛荘地区から引き継いだ「横断幕」を中心に、東近江市役所庁舎正面玄関前で集会が行われ、私も参加しました。

集会は、東近江平和委員会代表の鈴木悛亮氏の司会で進められ、東近江市長小椋正清氏からのメッセージ「激励の言葉」が総務課長から紹介され、続いて、新婦人の代表から発言がありました。

市長メッセージの一部を紹介します。

「戦争や核兵器のない平和な世界の実現は、私達みんなの願いであり、各界各団体において様々な活動がなされております。しかしながら、多発する紛争、テロ事件等、憂慮すべき報道が絶えることはありません。こういった状況の中で、平和と核兵器廃絶を願う皆さんの取組は、世界平和の実現につながる尊い一歩であると考えるところです。

本市におきましても、平成18年に『東近江市平和都市宣言』を行い、市民とともに日々平和で安全なまちづくりに努めており、平成20年には『平和首長会議』にも加盟しております。また、平成24年3月には滋賀県平和祈念館が当市に開館し、戦争の愚かさ、平和の尊さを多くの方々に訴えていただいており、市内の小学校全てで同館を訪れ平和学習を行っているところです。」

（谷　一明）

6月18日（近江八幡）

2020年原水爆禁止国民平和行進は、世界中で核兵器廃絶の機運が高まる中、伝統ある平和行進を、今年はコロナの関係で、新たな形で成功させようと提案がありました。

滋賀銀行従業員組合も、6月1日の中央委員会で、16日の引継ぎから21日の大津・京都まで県内の各拠点での参加を確認しました。

私は6月18日近江八幡コースに参加しました。あいにくの雨降りでしたが、12時30分からの近江八幡市役

所玄関前の出発集会には32名が集まりました。市役所から市長・議長はじめ6名が出向いていただきました。

市長から「戦争を否定され、核兵器が世界から根絶する日まで頑張って欲しい」旨の元気が出る励ましの言葉がありました。最後に「青い空は青いままで子ども等に伝えたい」と全員が合唱して、核兵器なくそうと誓い合いました。

今年も元気に平和行進に参加でき嬉しく、健康に感謝しました。

（澤井　正）

6月19日（草津駅前）

雨の中、約10名が草津駅前で、平和と核兵器廃絶の訴えと署名活動を行いました。野村昌弘栗東市長からのメッセージが読み上げられました。

「コロナ拡大に配慮しつつ国民平和大行進に取り組みの皆様に心から敬意を表します。世界平和は人類共通の願いですが、世界各地で紛争が絶えず、多くの人が核の危機にさらされています。平和行進の取り組みに核兵器のない真の平和が訪れることを願っています。

本市においては1988年、心をつなぐふるさと栗東都市宣言を行い、人類共通の願いである世界の平和を目指し活動を継続して取り組んでいます。戦争の記憶が年々失われてしまう中、戦争の悲惨さを風化させないため、意識を高め今後も平和の尊さを伝え推進していきたいと考えています。貴実行委員会のますますのご活躍と、この行進が世界の恒久平和と核廃絶に向け無事目的を果たされることを心から祈念申し上げます」

その他、草津市長、議長からもメッセージを頂きました。

続いて、藤井草津市議が平和への訴えと、平和行進実行委員会のメンバーが平和への願いをテーマに歌を熱唱されました。

雨の中、足を止めて聞いてくれる人、署名に応じてくれる人があり、活動の継続が必要だと感じました。

（小原信夫）

6月19日（滋賀県庁）

2020年原水爆禁止国民平和大行進は、今年63回目を迎え、雨の中でしたが、滋賀県庁を訪問しました。職員の方が出迎えられ、知事のメッセージを代読され、セレモニーを行いました。こちらの参加者は9名ほどでしたが、しっかりと受け継ぎ、あと石山駅へ引き継がれました。

（浦谷貞子）

6月19日（膳所駅前）

午後2時30分から膳所駅前での宣伝・署名行動に参加、コロナ禍で今年の平和行進は行進が中止になり、大津市役所・滋賀県庁の玄関でセレモニーがありました。

膳所駅前はJRや京阪電車を利用する人、西武やオーミイに買い物する人で通行人は絶えずありました。

また6月上旬から始まった小学校の下校時間と重なり横断幕やチラシを配る前を賑やかに帰る子どもたちの姿もほほえましかったです。

暑い日や雨の日の行進は大変ですが沿道から、旗を持ち「こんにちは平和行進です」と声をかけたり、道ばたの花々との出会い、やっぱり平和行進は行進が楽しみですね、来年は歩けるでしょうか？

（植木和美）

6月20日（湖南市）

天候晴れ。今年は行進がなく、集会のみとのことで、やや拍子抜けの感はあったが、定刻10時30分少し前に到着した。それでも、湖南市の市長さんと市議会の議長さんから挨拶があったときは緊張した。

核兵器も新型コロナウイルスも人類が作り出したものと考えれば、人間らしく生きるためには100％不要である。新たな世界に向けて、草の根からできることに地道に取り組んでいきたい。

（中島康隆）

6月21（大津駅前）

毎年梅雨時期に行進する為、結構な確率で雨に出くわしていたが、今日は晴天、気温も高く暑い日、梅雨を忘れてしまうくらいだ。

新型コロナの影響で、行進はなく、大津駅前での署名宣伝行動のみとなった。道行く人らにビラを配っての宣伝となったが、あまり取っていく人がいなかったのが残念。

子供の小さい頃からこの平和行進に参加してきたが、その子供も大きくなり、今では、平和行進がどういうものかというのもわかっているようで、今日も平和行進に行ってくると言うと、組合かと言ってくれた。この子供たちが戦争に行くなんてとんでもない、憲法9条で平和も守り、戦争しない国であり続ける事を訴えて行きたいと思いました。

（八軒和也）

6月21（大津駅前）

平和行進に参加して6月21日、大津駅前の宣伝に参加しました。今年は新型コロナウイルスの影響で行進はなく、車での移動とかで、久々に参加できたのに残念です。

今の内ならまだ歩けるのに、来年はどうなるか、この年になるとなんとも言えない年齢になってきた。

一緒に新婦人のタペストリを持って立っていた女性はお母さんを家で介護していたが103歳で看取ったので落ち込んでいても仕方ないと、はじめて参加したと云う方でした。

「沖縄での母親大会にも参加するつもりです」との事。

「私も行く予定ですからご一緒しましょう!!」と楽しい出会いがありました。

午後から京都へ引き継ぎ、山科の公園へ午後から予定が入っており山科までは行けなかったけど、来年はどこかのコースを歩けるように今から身体を鍛えておこう。

（坂下祥子）